

フードポスト設置拡充 大垣市とバローHDが協定

大垣市とバローホールディングスは、食育や国連の持続可能な開発目標（SDGs）、有事支援などの分野で連携する協定を結んだ。締結に合わせ、市内の



協定書を交わした小池孝幸社長（左から3人目）と石田仁市長（同4人目）ら＝大垣市役所

フードドライブポスト設置店を4店舗から10店舗に拡大した。

市役所で協定書を交わした小池孝幸社長は「社会の変化に先回りし、小回りを利かせて対応したい」、石田仁市長は「一つ一つの分野でしっかり活動し、住みやすいまちづくりにつなげたい」とあいさつした。

協定では、食育・教育、健康社会、SDGs、有事支援などを掲げた。具体的な取り組みは未定だが、同社と他自治体との連携では、学校での食育講話や住民への減塩啓発などに取り組んでいる。

同社は市内でスーパーマーケットやドラッグストア、スポーツクラブなど計15店舗を展開。拡充した同ポストに寄せられた食品は、市内で子ども食堂を運営する15団体にそれぞれ寄付される。（宮本寛）